

令和元年度

認知症ケア研修

募集要項



独立行政法人国立病院機構 北陸病院

研修の趣旨

日本は、少子高齢化を迎え、日本の医療は従来の「疾病を治す医療」から「暮らしを支える医療」へと医療提供体制の転換期にあります。住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう地域包括ケアシステムの構築が進められていますが、老年期の精神障害、なかでも認知症疾患の対策が重要な課題となっています。

当院は、平成 24 年 4 月認知症疾患医療センター（地域型）を開設し、認知症が疑われるご本人やご家族、関係機関などからのご相談をお受けして、鑑別診断を行い、周辺症状に対して適切な医療を提供し、対応の助言などを行っています。また、保健医療・介護機関等と連携を図りながら、さまざまな事業に取り組み、地域における認知症疾患の保健・医療・介護サービスの向上を図ることを目的に活動しております。

その活動の一環として、認知症患者の理解を深め、患者さんおよびご家族を支援するために必要な看護実践力の向上を図るとともに、地域を含めた患者さんおよびご家族の介入に携わる多職種のチームと協働・連携し、中心的役割を果たせる能力を養うことを目的に研修を企画しました。なお、本研修は、「認知症ケア加算 2」の要件に該当する研修として承認されています。

医療機関等で勤務されます多くの看護師の皆さまに、ご参加いただければ幸いです。

2019 年 5 月

認知症ケア研修 実施要領

1. 目的

医療機関勤務者において、認知症患者の看護に従事している看護師に対し、講義及び病棟での見学実習を通し、看護専門知識及び技術の習得を目的とする。

また、家族・患者を支援するために地域を含めた多職種チームと協働・連携し、中心的な役割を果たせる能力を養う。

2. 対象者

医療機関等において、認知症患者の看護に従事する看護師

3. 研修期間

2019年9月10日(火)～13日(金)

4. 研修場所

独立行政法人国立病院機構 北陸病院研修棟及び認知症病棟

5. 定員

20名

6. 研修費(資料代)

2,000円

7. 研修プログラム及び日程

別紙1, 2のとおり(変更が生じる可能性があります)

8. 応募方法

1) 受講申請手続き

(1) 提出書類

受講願書(様式1)

履歴書(様式2)

受講推薦書(様式3)

宿泊施設利用を希望される場合、宿泊申請書(様式4)

* 様式1～4をデータでご希望の方は、北陸病院ホームページにアクセスし、ダウンロードしてください。

北陸病院ホームページ画面

病院のご案内⇒部門案内⇒看護部⇒認知症ケア研修に入ってくださいと、募集要項・各種書類

(様式 1～4) があります。

(2) 提出先

〒939-1893 富山県南砺市信末 5963

独立行政法人国立病院機構 北陸病院 庶務係

TEL : 0763-62-1340 (代) FAX : 0763-62-3460

(3) 上記住所へ郵送で送付してください。

(4) 受付期限

2019年7月1日(月) 必着

2) 受講決定の通知について

書類選考のうえ、受講の可否を7月26日(金)までに、施設(本人)に通知します。

なお、認知症患者の看護・ケア等に関する事例検討会を実施しますので、受講決定者は規定用紙(様式5)に認知症患者看護事例を記入のうえ、8月5日(月)までに当院に郵送してください。

3) 受講時の注意事項

(1) 受付

研修初日、9時00分～9時50分までに北陸病院研修棟において、受付を済ませてください。

(2) 持参するもの

- ・印鑑
- ・筆記用具
- ・演習があるため動きやすい服装
- ・ナースシューズなど内履きを準備してください。
- ・事例検討や発表用にパソコンを持参することも可能です。

4) 修了証の交付

所定の研修課程を履修した受講生には、修了証を交付します。

5) 研修費用の負担について

(1) 研修費用

研修に使用する教材等は自己負担となります。

(2) その他の費用

研修期間中の食費や寝具などの使用料は実費です。また、研修2日目終了後に意見交換会を予定しておりますので、ご参加の程よろしくお願いたします。(参加費 約3,000円)

6) 認定

本研修は、診療報酬「認知症ケア加算 2」の施設基準の研修として承認されています。

9. 研修生用宿泊施設利用について

- 1) 当院研修棟内に研修生用の宿泊施設があります。宿泊希望人数に応じて、1室 1～2名で使用していただけます。1泊 800 円（プラス消費税）です。（寝具料込み・食費含まず。）研修初日の受付時に支払いをお願いします。
- 2) 宿泊施設の利用を希望される方は、宿泊申請書（様式 4）を受講願書と共に提出してください。
- 3) 利用許可の通知は、許可書の送付をもって決定とします。また宿泊施設の利用案内書も同封します。

10. 本研修に関する問い合わせ先

〒939-1893 富山県南砺市信末 5963

独立行政法人国立病院機構 北陸病院 庶務係

TEL : 0763-62-1340 (代) FAX : 0763-62-3460

2019年度 認知症ケア研修プログラム

(敬称略)

開会式

I. 認知症施策の最近の動向

1. 認知症をめぐる動向
2. これからの認知症施策

講師：富山県厚生部高齢福祉課 地域包括ケア推進班 松木 叶

II. 認知症の原因疾患と病態・治療

1. 認知症概論

講師：北陸病院 院長 坂本 宏

2. 認知症の病態・治療

講師：北陸病院 副院長 吉田 光宏

3. 高齢者の睡眠

講師：北陸病院 第2精神科医長 睡眠医療センター長 細川 宗仁

4. 認知症患者の行動・心理症状（BPSD）について

講師：北陸病院 第3精神科医長 認知症治療病棟医長 石橋 望

III. 多職種による認知症患者の専門的知識と関わり

1. 認知症患者の倫理的課題と意思決定支援

- 1) 認知症患者の自己決定を支援する各種制度について
- 2) 高齢者が地域で安心して生活を送るための支援の実際と課題

講師：北陸病院 精神保健福祉士 松本 葉子

2. 高齢者の栄養

講師：北陸病院 栄養管理室長 小原 香那

3. 高齢者の心理

講師：北陸病院 臨床心理士 小林 信周

4. 薬物療法について

講師：北陸病院 調剤主任 舟瀬 英司

IV.入院中の認知症患者の看護の実際

- 1.認知症の原因疾患と病態について
- 2.行動・心理症状（BPSD）、せん妄への対応の予防と実際
- 3.認知症患者及び家族とのコミュニケーション方法・入院在宅での療養環境の調整方法
- 4.認知症を持つ患者の看護アセスメントと援助技術
- 5.看護師による認知症患者の倫理的課題と意思決定支援
 - 1) 身体拘束が認知症の人に与える影響、エンドオブライフの意思確認について
 - 2) 認知症患者とその家族による意思決定への支援
 - 3) 認知症患者の倫理的課題
- 6.認知症患者の退院支援と退院調整
 - 1) 家族・地域との調整、当院で行っている訪問看護について
 - 2) 多職種チームでの連携について
 - 3) 認知症病棟における看護の実際（見学）

講師：北陸病院 認知症治療病棟副看護師長 認知症看護認定看護師 松井 常二
同 看護師 認知症看護認定看護師 吉岡 真紀子

V.事例検討・グループワーク

1.事例検討（グループワーク）4グループ

- 1) 事前提出事例について、グループ内で発表し、2事例を選出し、グループで検討する。
 - ・認知症患者に対する知識・技術を深め、対象の状況を考察できる
 - ・認知症患者の目線に立ち相互理解を深めて、自己の傾向に気づくことができる
 - ・研修での学び（認知症の原因疾患・病態生理・治療・患者家族の心理等）を活用して療養環境の調整、せん妄、BPSDの対応、倫理的課題と意思決定への援助を深める
 - ・認知症患者の適切な関わりとアセスメントによる看護介入を学び、薬物療法・身体拘束に関する観察と評価が行える
- 2) 選出した事例について補足説明を行い、メンバー間の共通認識をはかる。
 - ・選出した事例についてメンバー間でまとめを行う。
 - ・まとめ方は自由とする。

担当：北陸病院 認知症治療病棟看護師長 松柳 斉
同 副看護師長 認知症看護認定看護師 松井 常二
同 看護師 認知症看護認定看護師 吉岡 真紀子

2. 事例発表・まとめ

- ・まとめた事例についてグループごとに発表を行う。
- ・発表時間 5分、質疑応答 3分、タスクより 2分

VI. 作業療法と機能回復訓練

1. 認知症患者における作業療法の目的・内容・実際

- ・認知症病棟における作業療法の実際（見学・実習）

講師：北陸病院 作業療法士 開澤 裕子

VII. 家族会カフェ

1. 認知症を支える家族の心理・生活上の工夫を学び、当事者の思いに直接ふれる

講師：認知症の人と家族の会

VIII. 全体討議

研修生全員参加

- ・研修全体を通じての質疑応答
- ・研修受講後の学びと、自施設での今後の取り組み等

閉講式・修了証授与式

2019年度 認知症ケア研修日程表

別紙2
(敬称略)

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	
1日目 9月10日 (火)	受付	開講式 オリエン テーション	認知症施策の最近の動向 (富山県厚生部高齢福祉課)	昼食	移動	家族会カフェ (認知症の人と家族の会)	休憩	認知症疾患・概論 【坂本院長】		
2日目 9月11日 (水)	認知症患者の 作業療法・ 機能回復 【開澤OT】	認知症の看護	休憩	認知症の看護	昼食	認知症の 病態・治療 【吉田副院長】	薬物療法 【舟瀬薬剤師】	休憩	認知症患者の 行動・心理症状 【石橋医師】	認知症の看護
3日目 9月12日 (木)	認知症病棟見学 認知症看護の見学・作業療法演習 【開澤OT】	休憩	認知症患者の 意思決定支援 【松本PSW】	昼食	高齢者の睡眠 【細川医師】	高齢者の心理 【小林心理療法士】	休憩	高齢者の栄養 【小原栄養管理室長】	事例検討	
4日目 9月13日 (金)	事例検討			昼食	事例 発表	全体討議	閉講式			

意見交換会
*終了後

(様式1)

※

受講願書

年 月 日

独立行政法人国立病院機構 北陸病院

院長 坂本 宏 殿

申請者氏名

印

貴院の2019年度認知症ケア研修を受講したいので、関係書類を添えて出願いたします。

履 歴 書

フリガナ 氏 名			男 女	
生 年 月 日		年 月 日	年 齡 歳	
現 住 所		〒	電話番号 () -	
勤 務 先	フリガナ 名 称			
	現 住 所	〒	電話番号 () - FAX () -	
最終学歴		学 校 ・ 学 部 ・ 学 科 名	専 門 卒 業 年 月	
			年 月	
取得免許		免 許 の 名 称	登 録 番 号	
				取 得 年 月
				年 月
精神保健関係の 研修受講歴		研 修 名	受 講 年 月	
				年 月
				年 月
				年 月

(様式3)

※

受講推薦書

年 月 日

独立行政法人国立病院機構 北陸病院

院長 坂本 宏 殿

施設名

所在地

施設長氏名

印

2019年度認知症ケア研修の受講生として次の者を推薦いたします。

氏名

(様式4)

※

宿 泊 申 請 書

宿泊期間

(該当期間に○を記入)

1) 前泊及び研修期間 (前泊の場合は前日の15時～16時に病院受付に来てください)

2) 研修期間のみ

年 月 日 ～ 年 月 日

到着予定時刻 (:)

(泊 日)

上記のとおり研修棟宿泊施設を利用したいので申請します。

年 月 日

施設名

氏 名

性 別 男 ・ 女

連 絡 先 (携帯番号)

北陸病院院長 殿

(様式5)

※

認知症患者看護事例 記録用紙

日常の関わりの場面において、感じたこと、考えたことを意識化して記入してください。

受講者名

患者紹介		患者に関する情報	
場面の状況			
患者の言動	看護者として 感じたこと、考えたこと	看護者の言動	考察 (対応について考えたこと)